



## 【神の御言葉に従うことで祝福される今年】

今日の聖書本文:申命記 28章1-2節/ 暗唱聖句:サムエル記第一15章22節

説教: 鄭南哲牧師

新年明けましておめでとうございます！愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！お正月の休みであった今週一週間は久しぶりにご家族と良く交わったり、ゆっくり休めましたか。今年もみなさんの御家庭と職場の上に神様の豊かな祝福と御恵みが満ち溢れますように切にお祈り申し上げます。

### ＜神様に祝福されるために我々はどんな人になるべきでしょうか。＞

神様はどんな人々を祝福されるのでしょうか。新しい2013年を迎えた我々が自分たちに問うべき質問であると思います。神様の御言葉である聖書はどんな人が神の祝福を受けると語っていますか。申命記28章3-14節にはいろんな祝福が語られています。まとめてみると、世界のあらゆる民族の中ですぐれた者になる祝福(28:1),子孫の祝福(28:4), 環境的祝福(28:4), 場所を超越した祝福(28:6), 保護の祝福(28:7),天の倉を開いてくださる祝福(28:12), 多くの人々に分け与える祝福(28:12), かしらとならせ尾とならない祝福(28:13)などがあります。みなさんもこのような祝福を望んでいますか。するとどんな人がこれらの祝福を神様からいただくと約束されていますか。今日の本文である申命記28章 1-2節にその答えが書かれています。そうです。神様は神様の御言葉に従う人々にこのような素晴らしい祝福を約束しているのです。

神様は従う御自分の御民を祝福されることをたびたび約束されました。

申命記5章29節です。“どうか、彼らの心がこのようであって、いつまでも、わたしを恐れ、わたしのすべての命令を守るように。そして、彼らも、その子孫も、永久にしあわせになるように。”

しかし、みなさん、申命記28章15-19節には従わない者が受ける神ののろいをも記録されています。

申命記の御言葉をとおして我々が覚えるべき大切なことは、神様はイスラエルの民に選択を命じられました。中間がありません。どっちか一つだけです。従うか従わないか。二つの中で一つだけを我々は選び取らなければなりません。従うことで祝福を受けるか、従わないことでのろわれるかを神のまえで選びなさいと神様はおっしゃっています。

従順とは何でしょうか。従順とは神の命令、神様の御言葉に従うことです。

E.M.パウンズという先生は、“従順とは神の御心を行なうことであり、その方の命令を守ることである。”と言いました。どんな意味ですか。神の命令と御言葉に従うためには自分の思いをおろさなければならないことです。自分の思いややり方をおろして、神様が命じられたことを即刻(そっこく)、そして心から従うことです。しかし、みなさん。従順とは決してたやすくできるものではないでしょう。去った2012年も神様の御前で御言葉のどおりに生きて来たかどうか、従ってきたかどうか、だれより自分自身が一番よく知っていると思います。

### ＜実際神様の御言葉に従って祝福された人々＞

聖書には自分より、人の言葉より神様の御言葉を信じ、従うことにより実際、素晴らしい祝福を受けた人々が記されています。アブラハムは神の命令と御言葉に従い、神の祝福をいただいたとヘブル人への手紙に書かれています。“信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けた時、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。”(ヘブル人への手紙11:8)

そして一人子イサクをいけにえとしてささげることさえ、神に従おうとした時、神様は彼に大いなる祝福を与えて下さいました。“仰せられた。「これは主の御告げである。わたしは自分にかけて誓う。あなたが、このことをなし、あなたの子、あなたのひとり子を惜しまなかったから、わたしは確かにあなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように数多く増し加えよう。そしてあなたの子孫は、その敵の門を勝ち取るであろう。あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたがわたしの声に聞き従ったからである。”

(創世記22:16-18)

そして新約聖書で印象的なのは、神様が創造された始めの人であったアダムの不従順とイエス様の従順についてこのように書かれています。

“すなわち、ちょうどひとりの人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、ひとりの従順によって多く

の人が義人とされるのです。”(ローマ人への手紙5:19)

聖書にアダムの罪は不従順の罪だったと判定しています。人類始めの人であるアダムの不従順によって人類が罪とのろいの裁きに置かれたのに、神様はそののろいに置かれた人々を愛し、救うためにその罪の代価として御子イエスキリストが 神様に従って、十字架をせおうことにより多くの人々が義とされたとのことです。

ですから、みなさん! 神様の御言葉に対して従うことはこんなに大事です。我々の残りの人生を左右する大切な選択肢であり、信仰生活においてかならず抱くべき姿勢であることを忘れてはいけないことです。

**<問題は 従順がたやすくありません。!>**

しかし、愛する信仰の家族のみなさん! 問題はなんですか。なかなか従えないことです。だからこそ尊い姿勢だと言えるでしょう。我々は神様に従うより従わないことがもっと簡単であることを経験をとおして知っています。聖書は、人間の墮落した 本性の中にアダムの犯した罪にしたがってつねに不従順する傾向が我々人間にあると指摘しています。そういうわけで、神様に従わない生活はどんな訓練も、努力も必要ありません。かえて神の前で不従順することが我々にはもっと自然的です。

**神様の御言葉と命令に従う姿勢と品性の模範はイエス様の本性です。**

ですから、われわれがイエスキリストを受け入れ、信仰を持ち始めると、我々の中に残っている不従順の本性とイエス様のように生きようとする本性が引っ張り合います。そのとき、従順の方がもっと強くなると神に従い、不従順の方がもっと強くなると不従順の傾向に走るようになるのです。その結果がまさに我々の生活の実として表されるのです。神に従うものは何よりも神様に愛されると聖書は約束しています。

“わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現わします。”(ヨハネの福音書14:21)

愛する信仰の家族のみなさん!

神様が我々に何かを命じ、仰せられる時、覚えるべきことは、神様の御言葉と命令は我々を束縛するためではなく、我々に 結局益をもたらせるためであることを覚えましょう。神は愛です。その愛の神様が我々に何かを要求される時、神様の本当の心は我々のためにその命令をくださるのです。みなさんは神様の御心が完全であり、すばらしいものであることを信じていますか。神様の御心は我々のためであって、神様の全ての命令は愛から出たものであることを信じますか。

神様が従うことを命じ、仰せられたのは神ご自身のためではなく、我々のためでした。神様は我々が従うか否(いな)か、関係なく十分であり、全能な方です。我々の従順や不従順によって神の神なることが変わるものではありません。ですから、我々は深く考えなければなりません。我々に従順を命じておられるのは我々の有益と幸せのためであることを。

**<すると、どうすれば従える人生となれるのでしょうか。>**

どうすれば、もう一度神様の御言葉に従える今年となれるでしょうか。

**もちろん、神様の御言葉と命令はなにであるか、何より神様の御言葉をたくさん読み、学ばなければなりません。**

神様の御言葉と命令、そして我々に対する神の御心はすでに聖書に全部書かれています。神様から直通で自分に特別に 語られ、命令を受けたと言っている何人かの証を聞きました。私はそのような方々に出会うたび決してうらやましいとか、嬉しい気持ちより二つのとっても哀れな思いがありました。一つの思いは、どれだけ信仰が弱く、幼く、疑い深かったら神様があんなふうにならなかつたのか。神様はどんなに哀れながら教えて下さったのだろうか。すでに、聖書をとおして知らされている内容なのに... 神の御言葉に対する無知と幼い信仰がとっても残念です。

もう一つは、なぜ、あの方は神の御言葉だけで満足できないのか。?という気持ちになります。神の御言葉の中には一度だけではなく、すべて神様の御心が記されているのに、どうして新しく、特別な物を探し、それを喜んでいるのか。こんにちの時代に我々に一番大切な信仰とはなにか御存知ですか。何かくすしい奇跡や特別な経験、体験談ではなく、“神様の御言葉だけでも十分です。”という信仰です。この神の御言葉中心の信仰さえあれば、我々は揺るがなくて従って生きることができます。

みなさんは去年、神の御言葉を読み、学ぶためにどれだけ時間を費やしましたか。我々の教会のみなさんは神の

御言葉と命令とはなにかよく御存知ですか。今年、私とみなさんがさらに従うことにより神様からの豊かな祝福をいただく一年となりたいなら、私に対する、我々に対する神様の御言葉と命令である聖書に戻って謙遜に学ぶべきであると信じます。そうするときようやく我々は正しい従順の道を歩めると信じます。アーメン!

もう一つ、どうすれば神の命令と御言葉に従う人生になれるのでしょうか。

神をもっと愛することです。 従順は愛の実です。愛すれば簡単です。神を愛すれば神様の願われることをむりやりにするのではなく喜んで従います。神様はそのような従順を喜んでくださいます。

“もし喜んで聞こうとするなら、あなたがたは、この国の良い物を食べることができる。”(イザヤ1:19)

神様は使徒パウロを通して愛され、愛することのできる秘訣は従順であることを強調します。

エペソ5章 22-33節では、幸福な結婚生活の秘密について、一番の秘密は従順にあることを語っています。

エペソ5章22-24節に、妻が夫に愛される秘訣は夫に対する従順であることを語っています。使徒パウロはいつも夫に従いなさいと語っています。あることは従い、あることは従わないではなくいつも、主にあつて何でも夫に従うようにと命じています。

幸福な夫婦生活の二つ目の秘密は犠牲的な愛です。

”夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛なさい。”(エペソ5:25)

“そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は自分を愛しているのです。”(エペソ5:28)

妻は夫に愛を強要せず、夫の言葉に従う時愛されます。夫も妻に愛を無理やりに強要しないで、人間のために惜しまず、御自分を十字架に明け渡したイエス様のようにまず妻を犠牲的に愛するとき妻の愛を受けます。犠牲を払う愛、責任を負う愛こそが幸せな結婚生活、夫婦生活の秘密なのです。

愛するみなさん! どこに行っても愛される秘訣は従うことです。従う時こそ愛されます。従う人々の態度は柔らかくて表情も温和です。不従順する人々の態度は頑固で、きついし、表情もかたいです。

みなさん、従順は愛の実であり、愛される秘訣です。

そういうわけでアメリカのアンドリュマレイは従順とは神の愛の座に入れる鍵であると言いながら次のような有名な言葉を残しました。“地の上での従順は天にある神の愛の座に入れる鍵である。”

神様は神の人を選び、その人を通して働かれる時決してほかの条件や背景をご覧になりません。

ただ、大切な一つ! 神様の御言葉に従う人々を尊く用いられました。

今日我々もサムエルが切にサウル王に語った神の言葉に耳を傾けるべきではないでしょうか。

“するとサムエルは言った。「主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。」”(サムエル第一15:22)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん!

2013年新しい年が始まりました。神様の御前で従うことによりいままで味わえなかった神様の豊かな祝福を味わえるクリスチャンプレイズチャーチのみなさんとなりますよう我々の主イエスキリストの御名によって祝福します。

アーメン!